

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	情報系資格対策講座1	
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	システム運用コース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		開講時間	木曜 3時限目～		授業形態	講義
教科書/教材	毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	諸岡 瑞香、下川 洋一、鈴木 睦男				実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア	
学習目的							
スキル習得の指標であり、就職にも大きなアドバンテージとなるのが各種資格の取得である。 基本情報技術者試験(以下、基本情報試験と呼ぶ)はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。 また、情報活用試験(以下、J検と呼ぶ)は文部科学省が後援する検定試験の一つであり、「情報」を扱う人材に必要とされるICT能力を客観的基準で評価する資格である。 本講座では、基本情報技術者試験、情報活用試験が合格できるように対策を行っていく。							
到達目標							
テクノロジー分野(基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術)、マネジメント分野(プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査)、ストラテジ分野(システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、法務)のうち過去に出題された問題を重点的に理解する。							
教育方法等							
授業概要	授業は、テキストを活用して用語や情報技術のしくみ等について学び、その後、練習問題に取り組む。知識修得と練習問題を繰り返し実施することで、各自の理解度をチェックしながら進めていく。練習問題の取り組み後には、不正解が多かった問題について重点的に解説を行い、学生の理解を高める。 また、毎回の授業の冒頭で前回の復習を行い、学習内容を引き起こし、理解度や意欲の向上を図る。						
注意点	過去問に対して学生が適当に解答をしてしまうと誤答者の多い問題が適切に選り出せず、解説の効果が薄い事態に陥ってしまうため、学生が一生懸命に過去問に取り組むことを最重要視する。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。(詳しくは初回の講義で説明する。)理由のない遅刻や欠席は認めない。指定した教科書を忘れずに持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確保するために実施する				
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス・過去問演習と演習の解説(1)			基本情報試験・J検の概要を理解し、過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
2回	過去問演習と演習の解説(1)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
3回	過去問演習と演習の解説(2)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
4回	過去問演習と演習の解説(3)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
5回	過去問演習と演習の解説(4)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
6回	過去問演習と演習の解説(5)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
7回	過去問演習と演習の解説(6)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
8回	過去問演習と演習の解説(7)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
9回	過去問演習と演習の解説(8)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
10回	過去問演習と演習の解説(9)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
11回	過去問演習と演習の解説(10)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
12回	過去問演習と演習の解説(11)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
13回	過去問演習と演習の解説(12)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
14回	過去問演習と演習の解説(13)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
15回	過去問演習と演習の解説(14)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			